

聖大「スボタ」ノ晚課及ビ聖體禮儀

定刻ニ及ビテ鐘ヲ撞ク。司祭祭服ヲ着シ、祝讚シテ後、誦經者常例ノ如ク始メテ、首誦聖詠ヲ誦ス。次ニ大聯禱「主ヨ、爾ニ籲ブ」ヲ第一調ニ依リテ歌フ。「不法者ハ己ノ網ニ罹リ」ノ句ニ至ル時、他ノ司祭及ビ輔祭ハ拜ヲ爲シテ退キ、祭服ヲ完装シテ奉獻禮儀ヲ行フ。歌フ者八句ヲ立テテ、八調經ノ主日ノ讚頌三章及ビ挿句ノ一章ヲ歌フ。

主日ノ讚頌第一調。

聖ナル主ヨ、我が晩ノ禱ヲ納レテ、我等ニ罪ノ赦ヲ與ヘ給ヘ、爾ハ獨世界ニ復活ヲ顯シシ者ナレバナリ。

人人ヨ、シオンヲ廻リ、之ヲ圍ミテ、是ノ中ニ死ヨリ復活セシ主ニ光榮ヲ歸セヨ、彼ハ我等ヲ不法ヨリ救ヒシ吾ガ神ナレバナリ。

人人ヨ、來レ、歌ヒテハリストスヲ拜ミ、其死ヨリ復活セシヲ讚榮セン、彼ハ敵ノ誘惑ヨリ世界ヲ救ヒシ吾ガ神ナレバナリ。

ハリストスヨ、爾ノ苦ニテ我等ハ苦ヲ免レ、爾ノ復活ニテ我等ハ淪滅ヨリ救ハレタリ、主ヨ、光榮ハ爾ニ歸ス。

又大「スボタ」ノ自調ノ讚頌三章、其一ハ二次、第八調。

今日地獄ハ呻キテ呼ブ、我若シマリヤヨリ生レシ者ヲ受ケザリシナラバ、我
ノ爲ニ善カリシナラン。蓋彼ハ我ニ至リテ、我ガ權ヲ滅シ、銅ノ門ヲ破リ、我ガ
曩ニ收ヘタル諸ノ靈ヲ神トシテ復活セシメタリ。主ヨ、光榮ハ爾ノ十字架及

ビ爾ノ復活ニ歸ス。

今日地獄ハ呻キテ呼ブ、我死セシ者ノ一ノ如クニ死者ヲ受ケシニ因リテ、我
ガ權ハ滅ビタリ。蓋敢テ此ノ者ヲ留ムル能ハズ、乃彼ト偕ニ我ガ權下ニ屬セ
シ者ヲ失フ、我古世ヨリノ死者ヲ有テリ、然レドモ視ヨ、此ノ者ハ衆ヲ起ス。主

ヨ、光榮ハ爾ノ十字架及ビ爾ノ復活ニ歸ス。

今日地獄ハ呻キテ呼ブ、我ノ權ハ吞マレタリ、牧者ハ十字架ニ釘セラレテア
ダムヲ起セリ。我ガ權下ニ屬セシ者ハ奪ハレ、我勝チテ吞ミタル者ヲ皆吐キ
出セリ、釘セラレシ者ハ墓ヲ空シクセリ、死ノ權ハ力ヲ失フ。主ヨ、光榮ハ爾ノ
十字架及ビ爾ノ復活ニ歸ス。

光榮第六調、大ナルモ不セイハ此ノ日ヲ奧密ニ前兆シテ曰ヘリ、神ハ第七日

ヲ祝セリト、蓋此ハ祝セラレシ「スボタ」此ハ安息ノ日ナリ。此ノ日ニ神ノ獨生
子ハ其悉クノ工ヲ竣ヘ、嘗テ定メシ死ニ藉リテ、肉體ニテ安息セリ。復活ヲ以

テ彼ハ舊ノ姿ニ回リテ、我等ニ永遠ノ生命ヲ賜ヘリ、獨仁慈ニシテ人ヲ愛スル主ナレバナリ。

今モ、生神女讚詞第一調、人ヨリ生レテ主宰ヲ生ミシ全世界ノ光榮ト天ノ門

ナル童貞女マリヤ、諸天使ノ歌、諸信者ノ飾ナル者ヲ讚メ歌フベシ。彼ハ天ト

均シク、神ノ宮ト均シキ者トシテ顯レタリ、彼ハ仇ノ隔ヲ破リテ和睦ヲ結ビ、

國ヲ開ケリ。我等ハ彼ヲ信ノ固ト爲シ、彼ヨリ生レシ主ヲ扞ギ衛ル者ト爲ス。

勇メヨ、神ノ民ヨ、勇メヨ、主ハ敵ニ勝タン、全能者ナレバナリ。

福音經捧持ノ聖入。『穩ナル光』。

提綱ヲ誦セズシテ、直ニ睿智。是ニ於テ誦經者、喩言ヲ讀ミ始ム。

創世記ノ讀。第一章。

元始ニ神天地ヲ造レリ。地ハ形ナク虚シクシテ、暗ハ淵ノ面ニ在リ、神ノ禱水

ノ面ニ覆育セリ。神曰ヘリ、光アルベシ。即光成レリ。神光ヲ觀テ善トセリ、神光

ヲ暗ヨリ判テリ。神光ヲ晝ト名ヅケ、暗ヲ夜ト名ヅケタリ。夕アリ、朝アリ、是レ

一日ナリ。神曰ヘリ、水ノ中ニ穹蒼アリテ、水ヲ水ヨリ判ツベシ。即斯ク成レリ。

神穹蒼ヲ造リテ、穹蒼ノ下ノ水ヲ穹蒼ノ上ノ水ヨリ判テリ。神穹蒼ヲ天ト名

ヅケタリ。神之ヲ觀テ善トセリ。夕アリ、朝アリ、是レ第二日ナリ。神曰ヘリ、天下

ノ水ハ一區ニ匯マリテ、陸顯ルベシ。即斯ク成レリ。天下ノ水其區ニ匯マリテ、陸顯レタリ。神陸ヲ地ト名ヅケ、水ノ匯ヲ海ト名ヅケタリ。神之ヲ觀テ善トセリ。神曰ヘリ、地ハ青草ト、種ヲ其類其肖ニ從ヒテ蒔ク草ト、地上ニ其類ニ從ヒテ、己ノ内ニ核ヲ懷ク實ヲ結ブ所ノ果ノ木トヲ生ズベシ。即斯ク成レリ。地ハ青草ト、種ヲ其類其肖ニ從ヒテ蒔ク草ト、地上ニ其類ニ從ヒテ、己ノ内ニ核ヲ懷ク實ヲ結ブ所ノ果ノ木トヲ生ゼリ。神之ヲ觀テ善トセリ。夕アリ、朝アリ、是レ第三日ナリ。

イサイヤノ預言書ノ讀第六十章。

イエルサリムヨ、光リ、光レヨ、蓋爾ノ光ハ來リ、主ノ光榮ハ爾ノ上ニ輝ケリ。視ヨ、暗ハ地ヲ蔽ヒ、昏黒ハ諸民ヲ蔽ハン、然レドモ爾ノ上ニハ主輝キ、其光榮ハ爾ノ上ニ顯レン。諸王ハ爾ノ光ニ來リ、諸民ハ爾ノ上ニ升ル所ノ輝煌ニ來ラシム。爾ノ目ヲ擧ゲテ周邊ヲ視ヨ、彼等皆集マリテ爾ニ來ル、爾ノ男子ハ遠方ヨリ來リ、爾ノ女子ハ手ニ抱カレテ攜ヘラル。其時爾見テ喜ビ、爾ノ心ハ躍リテ廣マラン、蓋海ノ富ハ爾ニ歸シ、諸民ノ貨財ハ爾ニ來ラン。衆多ノ駱駝、マゾアム及ビゲソノ小駱駝ハ爾ヲ蔽ハン、彼等皆サワヨリ來リ、黃金ト乳香ト寶石トヲ攜ヘテ、主ノ光榮ヲ傳ヘン。キダルノ羊ハ悉ク爾ニ集マリ、ナヅヲフノ牡

主ハエギヘトノ地ニ於テ、モイセイ及ビアアロンニ告ゲテ曰ヘリ、是ノ月ヲ
爾等ノ月ノ首ト爲シ、爾等此ヲ歲ノ第一月ト爲スベシ。爾等イズライリノ諸
子ノ全會衆ニ告ゲテ曰ヘ、是ノ月ノ十日ニ、家ノ父タル者各羔ヲ取ルベシ、卽
家ゴトニ一ノ羔ナリ、若シ家族少クシテ、其羔ヲ盡スコト能ハズバ、其家ノ鄰
ノ人ト偕ニ、人ノ數ニ循ヒテ之ヲ取ルベシ、各人ノ食フ所ニ循ヒテ、爾等羔ヲ
計ルベシ。爾等ノ羔ハ疵ナキ當歲ノ牡ナルベシ、綿羊或ハ山羊ヨリ之ヲ取レ、
是ノ月ノ十四日マデ之ヲ守リ、其暮ニ及ビテ、イズライリノ諸子ノ會衆皆之
ヲ屠リ、其血ヲ取リテ、之ヲ食ハントスル家ノ門ノ左右ノ楸ト楸トニ塗ルベ
シ。此ノ夜、其肉ヲ火ニ炙キテ食ヒ、又酵ナキ餅ニ苦菜ヲ添ヘテ食フベシ。之ヲ
生ニテモ、水ニ烹テモ食フ勿レ、火ニテ炙クベシ、其首ト脛ト臍ト皆食フ
ベシ、之ヲ明朝マデ遺ス勿レ、其骨ヲ折ル勿レ、其遺リタル者ハ明朝マデニ火
ニテ燬キ盡スベシ。是クノ如ク之ヲ食ヘ、爾等ノ腰ニハ帶ヲ束子、爾等ノ足ニ
ハ屨ヲ穿キ、爾等ノ手ニハ杖ヲ持チテ、急ギテ之ヲ食ヘ、是レ主ノ逾越節ナリ。

イオナノ預言書ノ讀。第一至四章。

主ノ言アマスヤノ子イオナニ臨メリ、云ク、起チテ、大ナル邑ニ子以ヤニ往キ
テ、之ニ宣ベ傳ヘヨ、蓋其惡ノ聲ハ上リテ我ガ前ニ至レリ。イオナ起チテ、主ノ

一三 一 二 一 一 九 八 七 六 五 四

面ヲ避ケテ、スルシスニ逃レント欲シテ、イオビヤニ至リ、スルシスニ往カン
 トスル舟ニ遇ヒテ、値ヲ給シテ之ニ登レリ、主ノ面ヲ避ケテ、彼等ト偕ニスル
 シスニ往カン爲ナリ。然レドモ主ハ大風ヲ海ノ上ニ起シテ、烈シキ颶風海ニ
 在リタレバ、舟幾ド壞レントセリ。舟人懼レテ、各其神ニ籲ビ、又舟ヲ輕クセン
 爲ニ其載貨ヲ海ニ抛テリ、惟イオナハ舟ノ内層ニ下リテ、臥シテ熟睡セリ。舟
 師彼ニ就キテ曰ヘリ、爾何ゾ熟睡スル、起キテ爾ノ神ニ籲ベ、神或ハ我等ヲ念
 ヒテ、亡ビザラシメン。人衆互ニ言ヘリ、我等籤ヲ掣キテ、此ノ災ノ誰ニ縁リテ
 我等ニ臨ミシカヲ知ラン。乃籤ヲ掣キシニ、籤イオナニ當レリ。其時皆彼ニ謂
 ヘリ、我等ニ告ゲヨ、此ノ災ノ我等ニ臨ミシハ何ノ故ゾ、爾ノ業ハ何ゾヤ、爾ハ
 何ヨリ來レルカ、爾ノ故土ハ何ノ處ゾ、爾ハ何ノ民ニ屬スルカ。彼曰ヘリ、我ハ
 エウレイ人ニシテ、主天ノ神、海ト陸ト造リシ者ヲ敬フ。是ニ於テ人衆大ニ
 懼レテ彼ニ謂ヘリ、爾胡爲レゾ此ヲ行ヒタル、蓋此ノ人衆ハ彼ガ主ノ面ヲ避
 ケテ逃ルルヲ知レリ、彼自ラ之ヲ告ゲタレバナリ。乃彼ニ謂ヘリ、我等爾ニ何
 ヲ爲シテ、海ノ我等ノ爲ニ靖マルヲ致スベキカ。蓋海ハ愈甚シク蕩レタリ。イ
 オナ彼等ニ謂ヘリ、我ヲ取りテ海ニ投ゲヨ、然ラバ海ハ爾等ノ爲ニ靖マラン、
 蓋我知ル、此ノ大ナル颶風ノ爾等ニ臨ミシハ、我が故ニ縁リテナリ。此ノ人衆

一 四 一 五 一 六 一 節 三二 一 一 一 七 六 五 四 八

務^{ツト}メテ漕^コギテ、陸^{クガ}ニ進^スマント欲^{ホツ}シタレドモ、遂^{ツヒ}ニ能^ヌハザリキ、海^{ウミ}彼^{カレ}等^ラニ向^{ムカ}ヒテ益^{マユ}烈^{セツ}シク蕩^アレタレバナリ。其^{ソノ}時^{トキ}彼^{カレ}等^ラ主^{シユ}ニ籲^ヨビテ曰^イヘリ、主^{シユ}ヨ、爾^{ナンデ}ニ求^{モト}ム、此^コノ人^{ヒト}ノ生^イ命^{メチ}ノ爲^{タシ}ニ我^{ワレ}等^ラノ亡^{ホロ}ブルヲ致^{イダ}ス母^{ナカ}レ、辜^{ツギ}ナキ血^チヲ我^{ワレ}等^ラニ歸^キスル母^{ナカ}レ、蓋^{ケレ}爾^{ナンデ}主^{シユ}ヨ、爾^{ナンデ}ノ旨^{ムネ}ニ適^{カナ}ヘル事^{コト}ヲ行^{オコ}ヘリ、乃^{スナハチ}イオナヲ取^トリテ、海^{ウミ}ニ投^ナゲタレバ、海^{ウミ}ノ邊^アルルコト息^ヤミタリ。此^コノ人^{ヒト}人大^{ビトオホイ}ニ主^{シユ}ヲ畏^{オウ}レテ、主^{シユ}ニ祭^{マツリ}ヲ獻^{ケン}ジ、誓^{セイ}願^{ガン}ヲ立^タテタリ。主^{シユ}ハ大^{オホイ}ナル鯨^{クヂラ}ニ命^{メイ}ジテイオナヲ吞^ノマシメタリ、イオナハ此^コノ鯨^{クヂラ}ノ腹^{ハラ}ノ中^{ナカ}ニ居^アリシコト三日^{サンジツ}三夜^{サンヤ}ナリキ、時^{トキ}ニイオナハ鯨^{クヂラ}ノ腹^{ハラ}ヨリ主^{シユ}己^{オンレ}ノ神^{カミ}ニ祈^イリテ曰^イヘリ、

祈禱

我^{ワレ}我^{ワレ}ガ患^{クワン}難^{ナン}ノ中^{ウチ}ニ主^{シユ}ニ籲^ヨビシニ、彼^{カレ}我^{ワレ}ニ聽^キケリ、地^ヂ獄^{ゴク}ノ腹^{ハラ}ヨリ呼^ヨハリシニ、爾^{ナンデ}我^{ワレ}ガ聲^{コエ}ヲ聽^キキ給^{タマ}ヘリ。爾^{ナンデ}我^{ワレ}ヲ淵^{フチ}ノ中^{ウチ}海^{ウミ}ノ心^{ココロ}ニ投^ナゲタルニ、流^{リウ}水^{スイ}我^{ワレ}ヲ環^イリ、爾^{ナンデ}ノ波^{ナミ}濤^{ナミ}、爾^{ナンデ}ノ巨^{オホ}浪^{ナミ}ハ悉^{コトゴト}ク我^{ワレ}ガ上^{ウエ}ヲ度^{ワタ}レリ。我^{ワレ}曰^イヘリ、我^{ワレ}爾^{ナンデ}ノ目^メノ前^{マエ}ヨリ逐^オハレタリ、豈^{アニ}復^{マタ}爾^{ナンデ}ノ聖^{セイ}ナル殿^{デン}ヲ觀^ミンヤ。水^{ミヅ}ハ我^{ワレ}ヲ環^イリテ我^{ワレ}ガ靈^{タマシヒ}ニ及^{オヨ}ビ、淵^{フチ}ハ我^{ワレ}ヲ圍^{カコ}ミ、我^{ワレ}ガ首^{カウメ}ハ巖^{イハ}ノ間^{アミダ}ヲ潛^{カクレ}レリ。我^{ワレ}地^チノ中^{ナカ}ニ下^{クダ}レリ、其^{ソノ}永^{エイ}遠^{エン}ノ柱^{ハシラ}ト關^{クワン}トハ我^{ワレ}ヲ閉^{トヂ}セリ、主^{シユ}我^{ワレ}ガ神^{カミ}ヨ、願^{ネガ}ハクハ我^{ワレ}ガ生^イ命^{メチ}ハ淪^{ホロビ}亡^ビヨリ救^{スク}ハレン。我^{ワレ}ガ靈^{タマシヒ}我^{ワレ}ヲ離^{ハナ}レントスル時^{トキ}、我^{ワレ}主^{シユ}ヲ記^キ念^{ネン}セリ、願^{ネガ}ハクハ我^{ワレ}ガ祈^イハ爾^{ナンデ}ニ至^{イタ}リ、爾^{ナンデ}ノ聖^{セイ}ナル殿^{デン}ニ至^{イタ}ラン。

一九 ○

虚シクシテ僞ナル諸神ヲ敬フ者ハ己ノ矜恤者ヲ棄テタリ、然レドモ我讚美

一一 節一

ノ聲ヲ以テ爾ニ祭ヲ獻ゼン、我が誓ヒシ事ハ之ヲ償ハン、救ハ主ニ在リ。

二

主ハ鯨ニ命ジタレバ、イオナヲ陸ニ吐キ出セリ。主ノ言再イオナニ臨メリ、云

三

ク、起チテ、大ナル邑ニ子ワヤニ往キテ、之ニ我が爾ニ命ゼシコトヲ宣ベ傳ヘ

四

ヨ。イオナ起チテ、主ノ言ニ循ヒテ、ニ子ワヤニ往ケリ。ニ子ワヤハ神ニ在リテ

五

大ナル邑タリキ、其歷程ハ三日ナリ。イオナハ邑ヲ廻リ始メテ、一日程ヲ往キ

六

ツツ呼ビテ曰ヘリ、猶四十日アリテ、ニ子ワヤハ滅サレン。ニ子ワヤ人神ヲ信

七

ジ、齋ヲ宣レ、大ナル者ヨリ小キ者ニ至ルマデ麻ヲ衣タリ。此ノ言ニ子ワヤ王

八

ニ至リタレバ、彼位ヨリ起チ、朝服ヲ身ヨリ釋ギ、麻ヲ衣テ灰ニ坐セリ、又王及

九

ビ諸大臣ノ名ヲ以テ命ヲ下シテ、ニ子ワヤニ宣レシメテ曰ヘリ、人モ、畜モ、牛

一〇

モ、羊モ、皆何ヲモ食フベカラズ、牧場ニ出ツベカラズ、水ヲ飲ムベカラズ、且人

一 節

モ、畜モ、麻ヲ纏ヒ、切ニ神ニ呼ビ、又各其惡シキ途ヨリ、及ビ其手ノ強暴ヨリ離

二

ルベシ。孰カ知ラン、神或ハ轉ジテ悔イ、其烈シキ怒ヲ息メテ、我等ノ滅ブルヲ

三

致サザランコトヲ。神ハ彼等ノ行爲、即彼等ガ其惡シキ途ヨリ離レタルヲ見

四

タレバ、彼等ニ降サント言ヒシ災ヲ悔イテ、之ヲ降サザリキ。イオナ甚斯ノ事

五

ヲ哀シミ、且憤リ、主ニ祈リテ曰ヘリ、嗚呼、主ヨ、我猶本地ニ在リシ時、斯ノ事ヲ

一 一 一 一 九 八 七 六 五 四 三

言ヒシニ非ズヤ。此ニ縁リテ我先ニスルシスニ逃レタリ、蓋我爾ガ仁慈ニシテ矜恤、寛忍ニシテ洪恩ナル神、災ヲ悔ユル者ナルヲ知レリ。主ヨ、求ム、今我が命ヲ取レ、蓋我ニハ死ヌルハ生クルニ愈レリ。主曰ヘリ、豈爾ハ此ニ縁リテ斯ク甚シク哀シメルカ。イオナ邑ヲ出デテ、邑ノ東ノ方ニ坐シ、彼ニ己ノ爲ニ弗ヲ結ビテ、其蔭ニ坐セリ、邑ニ何事カアラント見シ爲ナリ。主神ハ匏ヲ生ゼシメ、此ヲ以テイオナノ上ヲ覆ヒ、其首ノ爲ニ蔭ヲ施セリ、其憂ヲ脱レシメン爲ナリ、イオナハ此ノ匏ヲ甚喜ベリ。然レドモ神ハ明日ノ曉ニ蟲ニ命ジテ、其匏ノ根ヲ嚙マシメタレバ、匏枯レタリ。日出デシ時、神暑キ東風ヲ起シ、日イオナノ首ヲ曝シシニ、彼弱リテ己ノ爲ニ死ヲ求メテ曰ヘリ、我ニハ死スルハ生クルニ愈レリ。神イオナニ謂ヘリ、豈爾ハ匏ノ爲ニ斯ク甚シク哀シメルカ。彼曰ヘリ、我甚哀シミテ死セントセリ。其時主曰ヘリ、爾勞ヲ加ヘズ、育テザル匏、一夜ニ生ジ、一夜ニ亡ビシ者ヲ惜シメリ、况ヤ我大ナル邑ニ子ヲヤ、其中ニ二十ニ萬餘ノ左右ヲ辨ゼザル者、及ビ衆クノ牲畜アル者ヲ惜シムベカラザランヤ。

イイススナタンノ記ノ讀第五章

イスライリノ諸子ハガルガルニ營ヲ張り、其月ノ十四日ノ暮ニイエリホンノ平野ニ於テ逾越節ヲ行ヘリ、逾越節ノ翌日其地ノ穀物ノ酵ナキ餅及ビ烘

一 二 麥ヲ食ヘリ。其地ノ穀物ヲ食ヒシ翌日ヨリ「マンナ」ノ降ルコト止ミテ、イズラ

一 三 イリノ諸子ハ復「マンナ」ヲ獲ザリキ、其歳ハハナアンノ地ノ産物ヲ食ヘリ。イ

一 四 イススイエリホンノ邊ニ在リシ時、其目ヲ舉ゲテ觀シニ、人彼ノ前ニ立テ、其

手ニ拔キタル劍ヲ持テリ。イイスス就キテ彼ニ謂ヘリ、爾ハ我等ノ一人カ、抑

一 五 我等ノ敵ノ一人カ。彼曰ヘリ、我ハ主ノ軍ノ將ニシテ、今此ニ來レリ。イイスス

面地ニ伏シテ、彼ヲ拜シテ曰ヘリ、君ヨ、爾ノ僕ニ何ヲ命ズルカ。主ノ軍將イイ

ススニ謂ヘリ、爾ノ屨ヲ爾ノ足ヨリ脱ゲ、蓋爾ノ立テル處ハ聖ナリ。イイスス

是クノ如ク行ヘリ。

エギペトチ出ヅル記ノ讀。第十三至十五章。

二〇節 イズライリノ諸子ハソコホフヨリ進ミテ、曠野ニ隣レルオヲムニ幕ヲ張レ

二 一 リ。神ハ彼等ヲ導キテ、晝ニハ雲ノ柱ヲ以テ、彼等ニ途ヲ示シ、夜ニハ火ノ柱ヲ

一 二 以テ、彼等ヲ照セリ。雲ノ柱ハ晝ニ、火ノ柱ハ夜ニ、衆民ノ前ヨリ離レザリキ。主

二 ハモイセイニ告ゲテ曰ヘリ、イズライリノ諸子ニ謂ヘ、轉ジテ、ピガヒロトノ

前ニ當リテ、ماغドルト海トノ間ニ、ウエルセポンノ前ニ幕ヲ張ルベシ、之ニ

三 向ヒテ海ノ傍ニ幕ヲ張レ。ヲラオン其民ニイズライリノ諸子ノ事ヲ言ハン、

四 彼等ハ此ノ地ニ迷ヒ、曠野ハ彼等ヲ閉セリト。我ヲラオンノ心ヲ剛愎ニセン、

彼^{カレ}其^{ソノ}後^{アト}ヲ追^オハシ、我^{ワレ}ハフヲラオント其^{ソノ}全^{ゼン}軍^{グン}トニ因^ヨリテ光^{クワウ}榮^{エイ}ヲ顯^{アラ}サン、エギペト
 人^{ジン}皆^{ミナ}我^{ワレ}ノ主^{シュ}ナルヲ知^シラント。彼^{カレ}等^ラ斯^カク行^{オコ}ヘリ。民^{タミ}ノ逃^ニゲタルコト、エギペト王^ワ
 ニ報^{ハク}ゼラレタレバ、フヲラオン及^オビ其^{ソノ}諸^{シヨ}僕^{ボク}ハ民^{タミ}ニ對^{タイ}シテ心^{ココロ}ヲ變^ヘジテ曰^イヘリ、我^{ワレ}
 等^ラ何^{ナニ}爲^スレゾ此^{コレ}ヲ爲^ナシ、イズライリノ諸^{シヨ}子^シヲ釋^{ユル}シテ、我^{ワレ}等^ラニ役^{エキ}事^ジセザルヲ致^イシ
 タル。フヲラオン其^{ソノ}車^{クルマ}ヲ備^{ソナ}ヘ、其^{ソノ}民^{タミ}ヲ集^{アツ}メテ偕^{トモ}ニ往^ユカシメ、精^{エイ}選^{スキ}ノ兵^{イクサ}車^{クルマ}六^{ロク}百^{ヒヤク}乘^{ジョウ}凡^{オヨソ}
 ノエギペトノ騎^キ兵^{ヘイ}及^オビ其^{ソノ}總^{ソウ}テノ軍^{グン}長^{チヤウ}等^ラヲ將^{ヒキ}井^ヒタリ。主^{シュ}ハエギペト王^{ワウ}フヲラオ
 ン及^オビ其^{ソノ}諸^{シヨ}僕^{ボク}ノ心^{ココロ}ヲ剛^{カタ}愼^{クナ}ニシタレバ、彼^{カレ}等^ラハイズライリノ諸^{シヨ}子^シノ後^{アト}ヲ追^オヘ
 リ、イズライリノ諸^{シヨ}子^シハ高^{タカ}キ手^テニ因^ヨリテ出^イデタリ。エギペト人^{ジン}及^オビフヲラオン
 ノ凡^{オヨソ}ノ馬^{ウマ}、車^{クルマ}、其^{ソノ}騎^キ兵^{ヘイ}、其^{ソノ}軍^{グン}旅^{リョ}ハ彼^{カレ}等^ラノ後^{アト}ヲ追^オヒテ、彼^{カレ}等^ラニヒガヒロトノ前^{マヘ}、^エ
 ルセボンニ向^{ムカ}ヒテ、海^{ウミ}ノ傍^{カタハラ}ニ幕^{マク}ヲ張^ハレル處^{トコロ}ニ及^オベリ。フヲラオン近^{チカ}ヅケリ。イズ
 ライリノ諸^{シヨ}子^シハ目^メヲ舉^アゲテ見^ミルニ、視^シヨ、エギペト人^{ジン}彼^{カレ}等^ラノ後^{アト}ヲ追^オヒ來^{キタ}ル、イ
 ズライリノ諸^{シヨ}子^シハ大^{オホ}ニ懼^{オウ}レテ主^{シュ}ニ呼^ヨビ、且^{カツ}モイセイニ謂^イヘリ、豈^{アニ}エギペトニ
 墓^{ハカ}ナキニ因^ヨリテ、我^{ワレ}等^ラヲ引^ヒキ出^イシテ野^ノニ死^シナシムルカ、我^{ワレ}等^ラヲエギペトヨリ
 出^イシテ、此^コレ爾^{ナンデ}我^{ワレ}等^ラニ何^{ナニ}ヲ爲^ナシシカ、我^{ワレ}等^ラエギペトニ在^アリテ、豈^{アニ}此^コノ事^{コト}ヲ爾^{ナンデ}
 語^ツゲザリシカ、云^{イハ}ク、我^{ワレ}等^ラヲ舍^オキテ、エギペト人^{ジン}ニ事^{ツカ}ヘシメヨ、蓋^{ケダシ}我^{ワレ}等^ラエギペト
 人^{ジン}ニ事^{ツカ}フルハ、此^コノ曠^{クワウ}野^ヤニ死^シスルヨリ勝^{マサ}レリ。然^{シカ}レドモモイセイ民^{タミ}ニ謂^イヘリ、

聖大「スポタ」

晩課

一四 懼ルル母レ、立チテ、主ガ今日爾等ニ行ハントスル救ヲ觀ヨ、蓋今日爾等ガ斯
 一五 等靜マレ。主ハモイセイニ謂ヘリ、爾何ゾ我ニ籲ブ、イズライリノ諸子ニ告ゲ
 一六 テ、彼等ヲ行カシメヨ、爾杖ヲ舉ゲ、爾ノ手ヲ海ノ上ニ伸ベテ、之ヲ分テ、イズラ
 一七 イリノ諸子ハ海ノ中ニ乾ケル地ニ入ルベシ。視ヨ、我ヲラオント總テノエギ
 一八 ペト人トノ心ヲ剛愎ニセシ、彼等ハ其後ニ入ラン、而シテ我ハヲラオン及ビ
 一九 其全軍、其兵車、其騎兵ニ因リテ光榮ヲ顯サン、我ガヲラオン、其兵軍、其騎兵ニ
 二〇 因リテ光榮ヲ顯サン時、エギペト人皆我ノ主ナルヲ知ラン。是ニ於テイズラ
 二一 イリノ諸子ノ陣營ノ前ニ行ケル神ノ使ハ移リテ、彼等ノ後ニ行キ、雲ノ柱モ
 二二 彼等ノ前ヨリ移リテ、彼等ノ後ニ立チ、エギペト人ノ陣營ト、イズライリノ諸
 二三 子ノ陣營トノ間ニ入りテ、彼ガ爲ニハ雲ト爲リ、暗ト爲リ、此ガ爲ニハ夜ヲ照
 二四 セリ、是ヲ以テ彼ト此ト夜ノ中ニ相近ヅカザリキ。モイセイ其手ヲ海ノ上ニ
 伸ベタレバ、主ハ終夜強キ東風ヲ以テ海ヲ退カシメテ、海ヲ陸ト爲シ、水分レ
 右ニ壁ト爲リ、左ニ壁ト爲レリ。エギペト人等、ヲラオンノ馬、兵車、騎兵、皆彼等
 後ヲ追ヒテ、海ノ中ニ入りタリ。曉更ニ主ハ火ト雲トノ柱ノ中ヨリエギベ

二五

ト人ノ軍ヲ鑿ミテ、エギペト人ノ軍ヲ亂シ、其車ノ輪ヲ縛リテ、行クニ難カラ

シメタリ。エギペト人曰ヘリ、我等ハイズライリノ前ヨリ逃ゲン、主ハ彼等ノ

二六

爲ニエギペト人ト戦ヘバナリ。主ハモイセイニ謂ヘリ、爾ノ手ヲ海ノ上ニ伸

二七

ベヨ、水ハ復合シテ、エギペト人、其兵車、其騎兵ヲ覆フベシ。モイセイ手ヲ海ノ

上ニ伸ベタレバ、且ニ及ビテ、水故ノ處ニ返レリ、エギペト人水ノ下ヲ奔レル

二八

ニ、主ハエギペト人ヲ海ノ中ニ搖リ墜セリ。水流レ回リテ、兵車、騎兵、及ビアラ

オンノ全軍、後ニ從ヒテ海ニ入りシ者ヲ覆ヒテ、彼等ノ中ニ一モ遺レル者ナ

二九

カリキ。惟イズライリノ諸子ハ海ノ中ニ乾ケル地ヲ行ケリ、水ハ彼等ノ爲ニ

三〇

右ニ壁ト爲リ、左ニ壁ト爲レリ。斯ク主ハ斯ノ日ニ於テイズライリヲエギペ

ト人ノ手ヨリ救ヘリ、イズライリノ諸子ハエギペト人ノ死シタルヲ海邊ニ

三一

見タリ。イズライリハ主ガエギペト人ニ行ヒシ大ナル事ヲ見タレバ、民ハ主

三二

ヲ畏レ、神及ビ其僕モイセイヲ信ジタリ。其時モイセイ及ビイズライリノ諸

子ハ此ノ歌ヲ主ニ謳ヒ曰ヘリ、

誦經者曰ク、主ニ謳ハン、

右列ノ詠隊第五調ニ依リテ歌フ、彼嚴ニ光榮ヲ顯シタレバナリ。

誦經者ハ詠隊ノ歌フ毎ニ先ダチテ句ヲ誦ス、彼ハ馬ト乗者トヲ海ニ投テリ。

主ニ謳ハン、

左列ノ詠隊、彼嚴ニ光榮ヲ顯シタレバナリ。

誦經、佑ケ獲ル者顯レテ、我が救ト爲レリ。主ニ謳ハン、

詠隊、彼嚴ニ光榮ヲ顯シタレバナリ。
後詠隊更誦經者ノ句ノ此ノ詞ヲ歌フ

誦經、彼ハ吾ガ神ナリ、我彼ヲ讚メ揚ゲン、彼ハ我ガ父ノ神ナリ、我彼ヲ尊ミ頌

ハン。主ニ謳ハン、

主ハ軍ヲ破ル者ナリ、其名ハ主ナリ。彼ハアラオンノ兵車ト其軍トヲ海ニ投

テリ。主ニ謳ハン、

簡バレタル騎兵ノ軍長等ヲ紅ノ海ニ溺ラセリ。主ニ謳ハン、

淵ヲ以テ彼等ヲ覆ヒ、彼等石ノ如ク深處ニ沈メリ。主ニ謳ハン、

主ヨ、爾ガ右ノ手ハ力ヲ以テ榮ヲ顯セリ。主ニ謳ハン、

主ヨ、爾ガ右ノ手ハ敵ヲ破リ、爾ハ光榮ノ大ナルヲ以テ爾ニ逆フ者ヲ滅セリ。

主ニ謳ハン、

爾怒ヲ發シタレバ、彼等ヲ藁ノ如ク焚ケリ、爾ノ愠ノ氣息ニ依リテ水分レタ

リ。主ニ謳ハン、

大水ハ壁ノ如ク立ち、濤ハ海ノ中ニ凝レリ。主ニ謳ハン、

敵曰へり、我追ヒテ及バン、抄掠物ヲ分タン、我が靈ヲ飽カシメン、我が劍ヲ以

テ殺サン、我が手彼等ヲ制セン。主ニ謳ハン、

爾氣ヲ嘘キタレバ、海ハ彼等ヲ覆ヒ、彼等鉛ノ如ク大水ニ沈メリ。主ニ謳ハン、

主ヨ、諸神ノ中孰カ爾ノ如キアラン、孰カ爾ノ如ク聖ニシテ威アリ、光榮ニシ

テ尊ムベク、諸ノ奇蹟ヲ行フ者アラン。主ニ謳ハン、

爾右ノ手ヲ伸ベタレバ、地ハ彼等ヲ吞メリ、爾ノ義ヲ以テ斯ノ爾ガ拯ヒシ民

ヲ導ケリ。主ニ謳ハン、

爾ノ力ヲ以テ彼等ヲ爾ノ聖ナル住所ニ送レリ。諸民ハ之ヲ聞キテ慄キ、

ステヤノ居民ハ懼ヲ懷ケリ。主ニ謳ハン。

其時エドムノ諸侯ハ恐れ惶ヒ、モアフノ牧伯ハ戦ヒ慄キ、ハナアンノ居民ハ

皆望ヲ失ヘリ。主ニ謳ハン、

願ハクハ畏懼ト戦慄トハ彼等ニ及バン、願ハクハ爾ガ臂ノ巨ナルニ縁リテ、

彼等ハ石ノ如クナラン。主ニ謳ハン、

爾ノ民ノ過グルニ至ルマデ、主ヨ、斯ノ爾ガ獲タル民ノ過グルニ至ルマデ然

ラン。主ニ謳ハン、

爾彼等ヲ導キテ、爾ガ嗣業ノ山ニ植エ、主ヨ、爾ガ己ノ住居トシテ備ヘシ處、主

一一
九八

ヨ、爾ガ手ノ作りシ聖所ニ植エ給ヘ。主ニ謳ハン、
 主ハ王ト爲リテ永遠ニ迄ラン。アラオンノ馬ハ其車、其乗者ト偕ニ海ニ入り
 シニ、主ハ海水ヲ以テ彼等ヲ覆ヘリ。主ニ謳ハン、
 惟イズライリノ諸子ハ海ノ中ニ乾ケル地ヲ行ケリ。主ニ謳ハン、
 光榮ハ父ト子ト聖神ニ歸ス。主ニ謳ハン、
 今モ何時モ世世ニ「アミン」。主ニ謳ハン、
 終ニ誦經亦歌フ彼嚴ニ光榮ヲ顯シタレバナリ。

ソスニヤノ預言書ノ讀。第三章。

八節

主是クノ如ク言フ、爾等我が起キテ證ヲ作サントスル日ヲ俟テ、蓋我已ニ定
 メタリ、諸民ヲ集ヘ、諸國ヲ聚メテ、彼等ノ上ニ我が憤、我が烈シキ怒ヲ悉ク斟
 ガンコトヲ、蓋我が熱中ノ火ヲ以テ全地ハ吞マレン。當時我復諸民ニ淨キ口
 ヲ賦ヘン、皆主ノ名ヲ籲ビテ、一心ニ彼ニ事ヘン爲ナリ。我ヲ拜ム者、我が散ラ
 サレタル者ノ諸子ハ、エズオビヤノ河外ノ地ヨリ來リテ我ニ禮物ヲ獻ゲン。
 當日ニハ爾我ニ對ヒテ犯シシ諸ノ行爲ヲ以テ羞ヲ得ルコトナカラン、蓋其
 時我爾ノ中ヨリ爾ノ高名ヲ以テ傲ブル者ヲ除カン、爾復我が聖山ニ於テ詔
 ラザラン。乃我爾ノ中ニ溫柔ニシテ謙遜ナル民ヲ遺サン、彼等主ノ名ヲ頼マ

九

一〇

一一

一二

一三
ン。イスラエリノ遺レル者ハ不義ヲ行ハズ、誑ヲ言ハザラン、其口ニ欺騙ノ舌
一四
ナカラシ、彼等牧セラレテ息ヒ、彼等ヲ懼レシムル者ナカラシ。シオンノ女ヨ、
一五
歡ビテ呼ベ、イスラエリヨ、祝ヘ、イエエルサリムノ女ヨ、心ヲ全クシテ喜ビ樂シ
メ。主ハ爾ニ對スル審斷ヲ息メ、爾ノ敵ヲ逐ヘリ、主イスラエリノ王ハ爾ノ中
ニ在リ、爾復禍ニ遇ハザラン。

列王紀ノ讀。第三卷十七章。

九八節

一〇
主ノ言イリヤニ臨ミテ曰ヘリ、起チテ、シドンノサレプタニ往キテ、彼處ニ居
レ、視ヨ、我彼處ニ一ノ嫠ニ爾ヲ養ハンコトヲ命ゼリ。彼起チテ、サレプタニ往
キ、邑ノ門ニ至レバ、彼處ニ一ノ嫠ノ薪ヲ拾フヲ見タリ。乃之ヲ呼ビテ曰ヘリ、
器ニ少許ノ水ヲ持チ來リテ、我ニ飲マシメヨ。彼水ヲ取ラン爲ニ往ケルニ、イ
リヤ後ヨリ呼ビテ彼ニ謂ヘリ、又爾ノ手ニ餅ノ片ヲ取リ來リテ、我ニ食ハシ
メヨ。婦曰ヘリ、主爾ノ神ハ活ク、我ニ餅ナシ、惟桶ニ一握ノ麵、瓶ニ少許ノ油ア
ルノミ、視ヨ、我ニ薪ヲ拾ヒ、往キテ、我ト我が子ノ爲ニ調ヘ、我等之ヲ食ヒテ
死ナン。イリヤ彼ニ謂ヘリ、懼ルル母レ、往キテ、爾ノ言ノ如ク行ヘ、然レドモ先
ヅ此ヲ以テ我ノ爲ニ小キ餅ヲ作りテ、我ニ持チ來レ、後爾ト爾ノ子ノ爲ニ作
ルベシ、蓋主イスラエリノ神ハ斯ク云フ、桶ノ麵ハ竭キズ、瓶ノ油ハ減ラズシ

一五

テ、主ガ雨ヲ地ニ降ラス日ニ迨バント。婦往キテ、イリヤノ言ノ如ク行ヒテ、彼

一六

ニ與ヘタリ、彼及ビ婦ト其子ト食ヘリ。其日ヨリ桶ノ麵ハ竭キズ、瓶ノ油ハ減

一七

ラザリキ、主ガイリヤニ因リテ言ヒシ言ノ如シ。此等ノ事ノ後、其家ノ主ナル

一八

婦ノ子病ニ罹リシガ、其病甚劇シクシテ、氣息其中ニ絶ユルニ至レリ。婦イリ

一九

ヤニ謂ヘリ、神ノ人ヨ、我ト爾ト何ゾ與ラン、爾ハ我が罪ヲ記憶セシメ、我が子

二〇

ヲ死ナシメン爲ニ我ニ來レリ。イリヤ婦ニ謂ヘリ、爾ノ子ヲ我ニ與ヘヨ。乃之

二一

ヲ其手ヨリ取り、之ヲ己ノ居ル所ノ樓ニ攜ヘ登リテ、己ノ牀ニ置キ、主ニ呼ビ

二二

テ曰ヘリ、主我が神ヨ、豈爾ハ我が居ル所ノ蔭ニ蓄ヲ降シテ、其子ヲ死ナシメ

二三

ンヤ。而シテ三次子ノ上ニ伏シテ、主ニ呼ビテ曰ヘリ、主我が神ヨ、願ハクハ此

二四

ノ子ノ靈ハ其中ニ返ラン。主ハイリヤノ聲ヲ聽キ納レタレバ、此ノ子ノ靈其

二五

中ニ返リテ、彼生キタリ。イリヤ子ヲ取りテ、樓ヨリ家ニ攜ヘ下リ、之ヲ其母ニ

二六

與ヘテ曰ヘリ、視ヨ、爾ノ子ハ生ク。婦イリヤニ謂ヘリ、今我爾ガ神ノ人ニシテ、

二七

爾ノ口ニ在ル主ノ言ノ眞實ナルヲ知レリ。

イサイヤノ預言書ノ讀第六十一、六十二章。

一〇

我歡喜ヲ以テ主ノ爲ニ歡ビ、我が靈ハ我が神ノ爲ニ樂シマン、蓋彼ハ我ニ救
ノ衣ヲ衣セ、義ノ上衣ヲ纏ハセ、我ニ新娶者ノ如ク冠ヲ戴カセ、新婦ノ如ク美

一 一
一 節

飾ヲ以テ飾レリ。蓋地ガ其芽ヲ出シ、園ガ播キタル者ヲ生ズル如ク、是クノ如ク主神ハ義ト光榮トヲ萬民ノ前ニ顯サン。我シオンノ故ニ縁リテ默サズ、イエルサリムノ故ニ縁リテ息ハズシテ、其義ハ光ノ如ク出デ、其救ハ燃ユル燈ノ如クナルニ迨バン。諸民爾ノ義ヲ見、諸王皆爾ノ光榮ヲ見テ、爾ニ新ナル名主ノ口ノ稱ヘントスル者ヲ名ヅケン。爾ハ主ノ手ニ在リテ光榮ノ冠ト爲リ、爾ノ神ノ掌ニ在リテ王ノ冕ト爲ラン。人復爾ヲ棄テラレシ者ト稱ヘズ、復爾ノ地ヲ荒レタル者ト稱ヘザラン、乃爾ヲ我ノ悦ベル者、爾ノ地ヲ配偶シタル者ト稱ヘン、蓋主ハ爾ヲ悦ビ、爾ノ地ハ配偶ヲ得ン。年少者ガ處女ト配偶スル如ク、是クノ如ク爾ノ諸子ハ爾ト配偶セン、新娶者ガ新婦ノ爲ニ悦ブ如ク、此クノ如ク爾ノ神ハ爾ノ爲ニ悦バン。

創世記ノ讀。第二十二章。

一 一
一 節
二 二
三 三
四 四
五 五

神ハアウラアムヲ試ミテ彼ニ謂ヘリ、アウラアムヨ、アウラアムヨ。彼曰ヘリ、我此ニ在リ。曰ヘリ、爾ノ獨ノ子、爾ガ愛スルイサアクヲ取リテ、モリアノ地ニ往キ、彼處ニ我ガ爾ニ示サントスル一ノ山ニ於テ、彼ヲ獻ジテ燔祭ト爲セ。アウラアム夙ニ興キテ、其驢馬ニ鞍オキ、二人ノ僕及ビ其子イサアクヲ取リ、且燔祭ノ爲ニ薪ヲ劈リテ、起チテ行キ、第三日ニ神ガ彼ニ示シシ處ニ來レリ。ア

五

ウラアム目ヲ舉ゲテ、遙ニ其處ヲ觀タリ。是ニ於テアウラアム其僕ニ謂ヘリ、

六

爾等ハ驢馬ト偕ニ此ニ止マレ、我及ビ子ハ彼處ニマデ往キ、崇拜ヲ爲シテ爾

七

等ニ返ラン。アウラアムハ燔祭ノ薪ヲ取リテ其子イサアクニ負ハセ、手ニ火

八

ト刀トヲ執リテ、二人共ニ往ケリ。イサアク其父アウラアムニ謂ヘリ、父ヨ、彼

九

日ヘリ、子ヨ、何ゾ。日ヘリ、火ト薪トハ此ニ在リ、燔祭ノ羊ハ何ニ在ルカ。アウラ

一〇

アム日ヘリ、子ヨ、神自ラ燔祭ヲ羊ヲ見ン。二人共ニ進ミ行キテ、神ノ彼ニ示シ

一一

シ處ニ到レリ、アウラアム彼處ニ於テ壇ヲ築キ、薪ヲ列ベ、其子イサアクヲ縛

一二

リテ、壇ニ薪ノ上ニ置ケリ。アウラアム其手ヲ伸ベテ刀ヲ取リ、其子ヲ宰ラン

一三

トセリ。時ニ主ノ使天ヨリ彼ヲ呼ビテ日ヘリ、アウラアムヨ、アウラアムヨ、彼

一四

日ヘリ、我此ニ在リ。日ヘリ、爾ノ手ヲ童子ニ舉グル勿レ、何ヲモ彼ニ爲ス勿レ、

一五

蓋今我ハ爾ガ神ヲ畏レ、爾ノ獨ノ子ヲ我ノ爲ニ惜マザリシヲ知レリ。アウラ

一六

アム目ヲ舉ゲテ、一ノ牡羊ノ其角林叢ニ繫リタルヲ視タリ。アウラアム往キ

一七

テ牡羊ヲ取リ、之ヲ其子イサアクニ代ヘテ、獻ジテ燔祭ト爲セリ。アウラアム

一八

其處ヲ名ヅケテ「イエゴワイレ」主見タリト云ヘリ。是ニ緣リテ今モ尙人人言

一九

フ、主ノ山ニ見レント。主ノ使再天ヨリアウラアムヲ呼ビテ日ヘリ、主云ク、我

二〇

己ヲ指シテ誓フ、爾斯ノ事ヲ爲シ、爾ガ獨ノ子ヲ我ノ爲ニ惜シマザリシニ因

二一

己ヲ指シテ誓フ、爾斯ノ事ヲ爲シ、爾ガ獨ノ子ヲ我ノ爲ニ惜シマザリシニ因

六五

一四

一三

一二

一一

一〇

一七
一八

リテ、我祝シテ爾ヲ祝シ、増シテ爾ノ後裔ヲ増シ、之ヲ天ノ星ノ如ク、海濱ノ沙ノ如ク爲ラシメン、爾ノ裔ハ其敵ノ諸邑ヲ嗣ガン、又爾ノ裔ニ因リテ地上ノ萬民ハ祝福ヲ獲ン、爾我ガ言ニ遵ヒタレバナリ。

イサイヤノ預言書ノ讀第六十一章。

一節

主ノ禱我ニ在リ、蓋主ハ我ニ膏シテ、貧シキ者ニ福音セシメ、我ヲ遣シテ、心ノ傷メル者ヲ醫シ、擄者ニ釋ヲ、瞽者ニ見ルコトヲ傳ヘ、主ノ禧年ト、我等ノ神ノ

三

應報ノ日トヲ告ゲシメ、凡ソ哀シム者ヲ慰メ、シオンニ於テ哀シム者ニハ、灰ニ代ヘテ榮冠ヲ、涙ニ代ヘテ喜樂ノ膏ヲ、憂ノ心ニ代ヘテ光榮ノ衣ヲ予ヘシ

四

メタリ。彼等ハ義ニ強キ者、主ノ裁ウル所ニシテ其光榮ヲ顯ス者ト稱ヘラレ

五

ン。彼等ハ世世ノ荒地ヲ建テ、上古ヨリ廢レタル處ヲ興シ、敗レタル邑、古代ヨ

六

リ荒レタル者ヲ新ニセン。外人ハ來リテ爾等ノ群ヲ牧シ、外族ノ諸子ハ爾等

七

ノ田ヲ耕シ、爾等ノ葡萄ヲ作ル者ト爲ラン。爾等ハ主ノ司祭ト稱ヘラレ、人爾

等ヲ我が神ノ役者ト呼バン、爾等諸民ノ富ヲ食ヒ、其光榮ヲ以テ自ラ誇ラン。

陵辱ニ代ヘテ、爾等ニ倍シテ賜ハラシ、侮辱ニ代ヘテ、彼等ハ其分ヲ喜バン、蓋

彼等ハ其地ニ在リテ二倍ノ業ヲ受ケン、永キ樂ハ彼等ニ在ラン。蓋我主ハ義

ヲ好ミ、不義ノ劫奪ヲ惡ミ、眞實ヲ以テ彼等ニ報ヲ予ヘ、彼等ト永遠ノ約ヲ立

九 テン。彼等ノ裔ハ諸民ノ中ニ知ラレ、彼等ノ子孫ハ諸族ノ間ニ知ラレン、凡ソ
彼等ヲ見ル者ハ彼等ガ主ニ祝福セラレタル裔ナルヲ識ラン。

列王紀ノ讀。第四卷第四章。

八節 一日エリセイソマンニ來リシニ、彼處ニ一ノ富メル婦彼ヲ留メテ餅ヲ食ハ

シメタリ、後彼此ノ處ヲ過グル毎ニ、彼ニ入りテ餅ヲ食ヘリ。婦其夫ニ謂ヘリ、

一〇 視ヨ、此ノ恒ニ我等ヲ過グル人ハ、我之ヲ觀ルニ、神ノ聖ナル人ナリ、請フ、彼ノ

爲ニ小キ樓ヲ造リテ、彼處ニ牀ト案ト椅子ト燭臺トヲ備ヘン、彼我等ニ來ル

一一 時、此ノ處ニ入ルベシ。一日彼彼處ニ至リ、其樓ニ入りテ臥シタリシガ、其僕ギ

エジイニ謂ヘリ、此ノソマンノ婦ヲ呼ベ之ヲ呼ビタレバ、婦其前ニ立テルニ、

一三 彼僕ニ謂ヘリ、之ニ謂ヘ、視ヨ、爾斯克懇ニ我等ヲ待フ、爾ノ爲ニ何ヲ爲スベキ

カ、爾王或ハ軍長ニ言フベキ所ナキカ。婦曰ヘリ、無シ、我ハ我が民ノ中ニ居ル

一四 ナリ。彼ギエジイニ謂ヘリ、彼ノ爲ニ何ヲ爲スベキカ。其僕ギエジイ曰ヘリ、彼

一五 ニハ子ナシ、其夫ハ老イタリ。エリセイ曰ヘリ、彼ヲ呼ベ。既ニ呼ビタレバ、彼戸

一六 ノ側ニ立テルニ、エリセイ彼ニ謂ヘリ、明ル年ノ此ノ頃爾子ヲ抱クアラン。彼

一七 曰ヘリ、否、主ヨ、爾ノ婢ヲ欺ク母レ。婦果シテ孕ミテ、明ル年エリセイノ彼ニ言

一八 ビシ頃ニ於テ子ヲ生メリ。子既ニ長ジテ、一日其父ニ、刈穫者ノ所ニ往キシガ、

一 九
二 〇
二 二
二 三
二 四
二 五
二 六
二 七
二 八
二 九
三 〇
三 一

彼ニ在リテ其父ニ謂ヘリ、我カ首、我ガ首。父僕ニ謂ヘリ、彼ヲ負ヒテ其母ニ詣レ。乃彼ヲ負ヒテ母ニ詣リシニ、午マデ母ノ膝ニ伏シテ、遂ニ死シタリ。母彼ヲ攜ヘ登リテ、神ノ人ノ牀ノ上ニ置キ、彼ヲ閉シテ出デ、其夫ヲ呼ビテ曰ヘリ、請フ、一ノ僕ト一ノ驢馬トヲ我ニ遣セ、我神ノ人ノ許ニ馳セ往キテ歸ラン。夫曰ヘリ、何ノ故ニ爾今日彼ニ往カントスルカ、新月ニモ非ズ、安息日ニモ非ズ。婦曰ヘリ、平安ナレ。驢馬ニ鞍オキテ、其僕ニ謂ヘリ、牽キテ往ケ、我ガ爾ニ命ズルコトナクバ止ムル母レ乃往キテ、神ノ人ニ、カルミル山ニマデ詣レリ。エリセイ遙ニ彼ノ來ルヲ見テ、其僕ギエジイニ謂ヘリ、視ヨ、此レハ彼ノソマンノ婦ナリ、趨リ往キテ、彼ヲ迎ヘテ曰ヘ、爾平安ナルカ、爾ノ夫平安ナルカ、爾ノ子平安ナルカト。婦曰ヘリ、平安ナリ。遂ニ山ニ登リ、エリセイニ就キテ、其足ヲ抱ケリ。キエジイ近ツキテ、之ヲ退ケントセシニ、エリセイ曰ヘリ、是ヲ舍ケ、其靈甚苦シム、唯主ハ我ニ隠シテ、未告ゲザリキ。彼曰ヘリ、我豈我ガ主ニ子ヲ求メシカ、豈我ヲ欺ク母レト云ハザリシカ。エリセイハギエジイニ謂ヘリ、爾ノ腰ヲ束子、我ガ杖ヲ手ニ持チテ往ケ、若シ何人ニカ遇ハバ、禮ヲ爲ス母レ、若シ爾ニ禮ヲ爲ス者アラバ、之ニ答フル母レ、我ガ杖ヲ子ノ面ニ置ケ。子ノ母曰ヘリ、主ハ活ク、爾ノ靈モ活ク、我爾ヲ離レズ。エリセイ起チテ、彼ニ從ヒテ行ケリ。キエ

ジイ先^{サキ}ダチ行^ユキテ、杖^{フエ}ヲ子^コノ面^{オモテ}ニ置^オキタレドモ、聲^{コエ}モナク、應^{コタ}モナカリキ。乃^{スナハチ}返^カ
 リテエリセイヲ迎^{ムカ}ヘテ、告^ツゲテ曰^イヘリ、子^コハ醒^サメザリキ。エリセイ家^イニ入^イルニ、
 視^ミヨ、死^シシタル子^コノ彼^{カレ}ノ牀^{トコ}ノ上^{ウエ}ニ置^オカレタルアリ。エリセイ入^イリテ、己^{オレ}ノ後^{アト}ニ
 戸^トヲ閉^トヂテ、主^{シユ}ニ禱^イレリ、而^{シカウ}シテ上^{ノボ}リテ子^コノ上^{ウエ}ニ伏^フシ、己^{オレ}ノ口^{クチ}ヲ其^{ソノ}口^{クチ}ニ、己^{オレ}ノ目^メ
 ナ其^{ソノ}目^メニ、己^{オレ}ノ手^テヲ其^{ソノ}手^テニ當^アテテ、子^コノ上^{ウエ}ニ身^ミヲ舒^ノベタレバ、子^コノ體^{タイ}温^{アツク}マレリ。
 下^{クダ}リテ室^{シツ}ノ中^{ウチ}ヲ往^{ワウ}來^{ライ}シ、復^{マタ}上^{ノボ}リテ、子^コノ上^{ウエ}ニ身^ミヲ舒^ノベシコト七^{ナナ}タビニシテ、子^コ
 ハ其^{ソノ}目^メヲ啓^{ヒラ}キタリ。エリセイイギエジイヲ呼^ヨビテ曰^イヘリ、此^コノソマンノ婦^{フシメ}ヲ呼^ヨ
 べ。之^{コレ}ヲ呼^ヨビタレバ、婦^{フシメ}彼^{カレ}ニ入^イリシニ、エリセイ曰^イヘリ、爾^{ナニガ}ノ子^コヲ取^トレ。婦^{フシメ}就^ツキテ、
 彼^{カレ}ノ足^{アシ}下^{モト}ニ伏^フシ、地^チニ俯^フ伏^フシテ彼^{カレ}ヲ拜^イシ、其^{ソノ}子^コヲ取^トリテ出^イデタリ。

イサイヤノ預言書ノ讀。第六十三、六十四章。

一節 主^{シユ}是^{コト}クノ如^{ゴト}ク言^イフ、其^{ソノ}羊^{ヒツジ}ノ牧^{ホク}者^{シヤ}ヲ海^{ウミ}ヨリ引^ヒキ出^{イダ}シシ者^{モノ}ハ安^{イツク}ニ在^アルカ、彼^{カレ}ノ心^{ココロ}
 一 二 其^{ソノ}聖^{セイ}神^{シン}ヲ納^イレシ者^{モノ}ハ安^{イツク}ニ在^アルカ、其^{ソノ}光^{クワウ}榮^{エイ}ノ臂^{ヒデ}ヲ以^{モツ}テモイセイノ右^{ミダ}ノ手^テヲ
 一 三 執^トリテ之^{コレ}ヲ導^{ミナ}ビ、彼^{カレ}等^ラノ前^{マエ}ニ水^{ミヅ}ヲ分^{ワカ}チテ、己^{オレ}ニ永^{エイ}遠^{エン}ノ名^ナヲ作^{ツク}リ、彼^{カレ}等^ラヲ引^ヒキテ、
 馬^{ウマ}ガ野^ノヲ行^ユク如^{ゴト}ク淵^{フチ}ヲ過^スギシメテ、躓^{ツツ}クコトナカラシメシ者^{モノ}ハ安^{イツク}ニ在^アルカ。
 一 四 群^レガ谷^{タニ}ニ下^{クダ}ル如^{ゴト}ク、主^{シユ}ノ神^{シン}ハ彼^{カレ}等^ラヲ安^{アン}息^{ソク}ニ導^{ミナ}ケリ。爾^{ナニガ}ハ是^カクノ如^{ゴト}ク、爾^{ナニガ}ノ民^{タミ}ヲ
 一 五 導^{ミナ}キテ、己^{オレ}ニ光^{クワウ}榮^{エイ}ノ名^ナヲ作^{ツク}レリ。天^{テン}ヨリ臨^シミ、爾^{ナニガ}ノ聖^{セイ}ニシテ光^{クワウ}榮^{エイ}ナル居^{イマ}所^{トコロ}ヨリ

一六 一七 一八 一節 二 三 四 五 三二節

觀ヨ、爾ノ熱心ト大能トハ安ニ在ルカ、爾ガ我等ニ於ケル仁愛ト慈憐トハ止メラレタリ。唯爾ハ我等ノ父ナリ、蓋アウラアムハ我等ヲ知ラズ、イズライリハ我等ヲ認メズ、主ヨ、爾ハ我等ノ父ナリ、古世ヨリ爾ノ名ハ我等ノ贖主ナリ。主ヨ、爾ハ胡爲レゾ我等ニ爾ノ道ヲ離ルルヲ許シ、我等ノ心ニ頑固ニナリテ、爾ヲ畏レザルコトヲ許シタル。求ム、爾ノ諸僕ノ爲、爾ノ業ノ支派ノ爲ニ轉ゼヨ。爾ノ聖ナル民ハ暫時其業ヲ保テリ、我等ノ敵ハ爾ノ聖所ヲ蹂レリ。我等ハ未曾テ爾ニ治メラレザル者ノ如ク、爾ノ名ヲ以テ稱ヘラレザル者ノ如クナレリ。嗚呼、若シ爾天ヲ裂キテ降りシナランニハ、諸山ハ爾ノ面ヨリ融カルルコト、火ニ由リテ柴ノ焚カレ、水ノ沸カサルル如クニシテ、爾ノ名ヲ爾ノ諸敵ニ知ラシメシナラン、爾ノ面ニ因リテ諸民慄、キシナラン、爾ガ嘗テ我等ノ待タザル畏ルベキ事ヲ行ヒテ降りシ時、諸山爾ノ面ヨリ融ケタリ。蓋古世ヨリ以來、爾ノ外ニ他ノ神アリテ、彼ヲ恃ム者ノ爲ニ斯ル事ヲ行ヒシコトハ、未聞カズ、未耳ニ入ラズ、未目ニ視シコトアラズ。爾ハ欣ビテ義ヲ行フ者、爾ノ道ニ於テ爾ヲ記念スル者ヲ慈憐ヲ以テ迎ヘタリ。

イエレミヤノ預言書ノ讀。第三十一章。

主是クノ如ク言フ、視ヨ、日至ラントス、我イズライリノ家、及ビイウダノ家ト

三二節

三三

三四

一節

二

三

五四

新ナル約ヲ立テ、我が彼等ノ先祖ニ、其手ヲ執リテ、エギペトノ地ヨリ引キ
 出シシ日ニ立テ、約ノ如キニ非ズ、蓋彼等我が約ニ止マラザレバ、我彼等ヲ
 顧ミザリキ、主ノ言是クノ如シ。主又云ク、厥日ノ後ニ、我がイスラエリノ家ニ
 立テントスル約ハ是ナリ、我ハ我が律法ヲ彼等ノ念ニ置キ、之ヲ彼等ノ心ニ
 銘サン、我ハ彼等ノ神ト爲リ、彼等ハ我ノ民ト爲ラン。且各其鄰ニ、及ビ各其兄
 弟ニ教ヘテ、主ヲ識レト云ハザラン、蓋小ヨリ大ニ至ルマデ、悉ク我ヲ識ラン。
 蓋我彼等ノ不義ヲ矜ミ、彼等ノ罪ヲ復記念セザラン。

ダニイルノ預言書ノ讀。第三章。

ナワホドノソル王ハ即位ノ十八年ニ金ノ像ヲ造レリ、其高ハ六十尺、其廣ハ
 六尺ナリ、之ヲワロン州ノデイルノ平野ニ立テタリ。而シテナワホドノソ
 ル王ハ州牧、方伯、將軍、刑官、庫官、法官、士師、及ビ州郡ノ諸有司ヲ召シ集メテ、其
 ナワホドノソル王ノ立テタル像ノ告成禮ニ臨マシメントセリ。是ニ於テ其
 州牧、方伯、將軍、刑官、庫官、法官、士師、及ビ州郡ノ諸有司ハナワホドノソル王ノ
 立テタル像ノ告成禮ニ臨ミテ、其ナワホドノソル王ノ立テタル像ノ前ニ立
 テリ、時ニ傳令者大聲ニ呼ビテ曰ヘリ、諸民、諸族、諸音ヨ、爾等ニ命ゼラル、爾等
 角、簫、琵琶、琴、瑟、篳篥、等ノ諸ノ樂器ノ音ヲ聞ク時ハ、俯伏シテ、ナワホドノソル

六 七 九八 一〇 一 一 一 一 一 一 一 一

王ノ立テタル金ノ像ヲ拜セヨ。若シ俯伏シテ拜セザル者アラバ、即時ニ火ノ
燃ユル爐ノ中ニ投ゼラレント。故ニ衆民角、簫、琵琶、琴、瑟、箏、篳篥等ノ諸ノ樂器ノ
音ヲ聞ケル時、諸民、諸族、諸音、皆俯伏シテ、ナクホドノソル王ノ立テタル金ノ
像ヲ拜セリ。當時或ハルデヤ人就キテイウデヤ人ヲ訴ヘタリ。彼等ナクホド
ノソル王ニ謂ヘリ、王ヨ、世世ニ生キヨ、王ヨ、爾命ヲ下シテ曰ヘリ、凡ノ人角、簫、
琵琶、琴、瑟、箏、篳篥等ノ諸ノ樂器ノ音ヲ聞カバ、俯伏シテ金ノ像ヲ拜スベシ、若シ
俯伏シテ拜セザル者アラバ、火ノ燃ユル爐ノ中ニ投ゼラルベシ。此ニ爾ガ立
テテワロン州ノ事ヲ司ラシムルイウデヤ人、セドラフ、ミサフ、アウデナゴ
アリ、王ヨ、此ノ人人ハ爾ノ命ニ從ハズ、爾ノ諸神ニ事ヘズ、爾ノ立テタル金ノ
像ヲ拜セズ。是ニ於テナクホドノソル怒リ憤リテ、セドラフ、ミサフ、アウデナ
ゴヲ攜ヘ來ランコトヲ命ジタレバ、乃斯ノ人人ヲ王ノ前ニ攜ヘ來レリ。ナク
ホドノソル彼等ニ謂ヘリ、セドラフ、ミサフ、アウデナゴヨ、爾等我が諸神ニ事
ヘズ、我が立テタル金ノ像ヲ拜セザルハ、故意ニ之ヲ爲スカ。今ヨリ爾等若シ
自ラ備ヘバ、角、簫、琵琶、琴、瑟、箏、篳篥等ノ諸ノ樂器ノ音ヲ聞ク時ハ、俯伏シテ、我が
造リシ像ヲ拜セヨ、若シ拜セズバ、即時ニ火ノ燃ユル爐ノ中ニ投ゼラレン、其
時何ノ神力爾等ヲ我が手ヨリ救フヲ得ン。セドラフ、ミサフ、アウデナゴハナ

一七 乃ホドノソル王ニ對ヘテ曰ヘリ、斯ノ事我等爾ニ答フルヲ要セズ。王ヨ、我等

ガ事フル所ノ神ハ我等ヲ火ノ燃ユル爐ヨリ救フヲ能ス、爾ノ手ヨリモ救ハ

一八 ン。若シ然ラズトモ、王ヨ、知ルベシ、我等ハ爾ノ諸神ニ事ヘズ、爾ガ立テタル金

一九 ノ像ヲ拜セザラン。其時ナ乃ホドノソル怒ニ充テラレ、セドラフ、ミサフ、アウ

二〇 デナゴニ向ヒテ其面ノ容ハ變レリ、彼爐ヲ恒ニ熱クスルヨリモ七倍熱クセ

二一 ンコトヲ命ジ、又其軍ノ中ノ最強キ者ニセドラフ、ミサフ、アウデナゴヲ縛リ

テ、火ノ燃ユル爐ノ中ニ投ゼンコトヲ命ジタリ。是ニ於テ此ノ三人ハ其裏衣、

二二 其外服、其冠、及ビ其他ノ衣裳ノママニ縛ラレテ、火ノ燃ユル爐ノ中ニ投ゼラ

レタリ。王ノ命嚴シク、爐ノ熱クセラレタルコト甚シキニ緣リテ、火ノ燄ハセ

二三 ドラフ、ミサフ、アウデナゴヲ投ゼシ人ヲ殺セリ。此ノ三人、セドラフ、ミサフ、

二四 アウデナゴハ縛ラレタルママ火ノ燃ユル爐ノ中ニ墮チタリ。彼等燄ノ中ヲ

二五 歩ミテ、神ヲ歌頌シ、主ヲ讚揚セリ。アザリヤ起チテ禱リ、火ノ中ニ其口ヲ啓キ

テ曰ヘリ、

祈禱

二二 主我が先祖ノ神ヨ、爾ハ讚揚セラレ、爾ノ名ハ世世ニ讚美讚榮セラル。蓋爾ハ
七六 凡ソ我等ニ行ヒシ事ニ於テ義ナリ、爾ノ事ハ皆眞實ナリ、爾ノ道ハ正直ナリ、

二八

爾ノ審判ハ悉ク公義ナリ爾ハ凡ソ我等及ビ我等ノ先祖ノ聖ナル城イエル

二九

サリムニ降シシ事ニ於テ公義ナル審判ヲ行ヘリ蓋眞實ト義判トニ縁リテ

三〇

悉ク之ヲ我等ノ諸罪ノ爲ニ降セリ蓋我等爾ヨリ離レテ罪ヲ犯シ不法ヲ行

三一

ヒ一切ノ事ニ於テ罪人ト爲レリ爾ノ誠命ヲ聽カズ守ラズ爾ガ我等ニ福ヲ

三二

獲シムル命ヲ行ハザリキ爾ガ我等ニ降シシ事爾ガ我等ニ爲シシ事ハ皆公

三三

義ノ審判ニ縁リテ之ヲ行ヘリ爾我等ヲ不法ナル敵憎ムベキ叛逆者ノ手ニ

三四

不義ナル王全地ノ極悪者ニ付セリ今我等ハ我ガ口ヲ啓ク能ハズ我等ハ爾

三五

ノ諸僕爾ヲ敬フ者ノ爲ニ差及ビ辱ト爲レリ求ム爾ノ名ニ縁リテ終ニ至ル

三六

マデ我等ヲ棄ツル母レ爾ノ約ヲ破ル母レ爾ガ愛スル所ノアウラアム爾ノ

三七

僕イサアク爾ノ聖ナルイスライリニ縁リテ爾ノ慈憐ヲ我等ヨリ離ス母レ

三八

爾曾テ彼等ニ其裔ヲ天上ノ星ノ如ク海邊ノ沙ノ如ク殖サント言ヘリ主ヨ

三九

我等ハ我ガ罪惡ノ故ニ因リテ諸民ヨリモ小クナリ今全地ニ卑シクナレリ

四〇

今ノ時我等ニハ君モ預言者モ率領モナク燔祭モ獻祭モ禮物モ乳香モナク

爾ニ祭ヲ獻ゲテ爾ノ恩ヲ獲ベキ處モナシ惟痛悔ノ心謙卑ノ靈アリ願ハク

ハ之ヲ納レ給ヘ願ハクハ我等ガ今爾ニ獻グル祭ハ牛ト羊トノ燔祭ノ時ノ

如ク肥エタル羔千千ヲ獻グル時ノ如ク爾ニ悅バレンコトヲ蓋爾ヲ頼ム者

四四二

四三

四四

四五

四六

四七

四八

四九

五一

五二

五三

五四

ニハ羞ナシ。今我等一心ニ爾ニ從ヒ、爾ヲ畏レ、爾ノ面ヲ尋ヌ。求ム、我等ヲ辱シ
 ムル母レ、乃爾ノ寛容ニ依リテ、爾ガ慈憐ノ多キニ依リテ我等ニ行ヒ給ヘ。主
 ヲ、爾ガ奇蹟ノ力ヲ以テ我等ヲ救ヒ、爾ノ名ヲ榮セヨ。願ハクハ凡ソ爾ノ諸僕
 ニ害ヲ爲ス者ハ羞ヲ蒙ラン、願ハクハ彼等ハ其悉クノ權勢ト共ニ辱シメラ
 レ、彼等ノ力ハ敗ラレ、彼等ハ爾ガ獨主神ニシテ、全地ニ光榮アル者タルヲ知
 ラン。

時ニ彼等ヲ火ニ投ゼシ王ノ諸僕ハ石油、松脂、麻、枯枝ヲ以テ爐ヲ燒キテ止マ
 ズ、火燄爐ノ上ニ起ルコト四十九尺、溢レ出デテ、爐ノ旁ニ在リシハルデヤ人
 ノ中、其及ブ所ノ者ヲ燒キ盡セリ。然レドモ主ノ使ハアザリヤ及ビ彼ト同ジ
 ク在リシ者ト偕ニ爐ノ中ニ降り、爐ヨリ燄ヲ撥子出シテ、爐ノ中ニ露ヲ含メ
 ル風ノ鳴ルガ如キヲ爲セリ、火ハ聊モ彼等ニ觸レズ、彼等ヲ惱マサズ、彼等ヲ
 懼レシメザリキ。其時此ノ三人口ヲ一ニシテ、爐ノ中ニ歌頌シ、神ヲ讚美讚榮
 シテ曰ヘリ、
 主我が先祖ノ神ヨ、爾ハ崇メ讚メラレ、世世ニ尊マレ、讚メ揚ゲラル、爾ノ光榮
 ニシテ聖ナル名モ崇メ讚メラレ、世世ニ尊マレ、讚メ揚ゲラル。爾ハ聖ナル爾
 ノ光榮ノ殿ニ崇メ讚メラレ、世世ニ尊マレ、讚メ揚ゲラル。ヘルヱムニ坐シ、淵

五五 ヲ鑿カシガミル者モノヨ、爾ナンヂハ崇アガメ讃ホメラレ、世ヨ世ヨニ尊タフトマレ、讃ホメ揚アゲラルル。爾ナンヂハ光クワウ榮エイナル
五六 爾ナンヂノ國クニノ寶座ハツザニ崇アガメ讃ホメラレ、世ヨ世ヨニ尊タフトマレ、讃ホメ揚アゲラルル。爾ナンヂハ天テンノ穹蒼オホソラニ

崇アガメ讃ホメラレ、世ヨ世ヨニ尊タフトマレ、讃ホメ揚アゲラルル。

是ニ於テ起チテ歌フ、主ヲ歌ヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

誦經句ヲ誦ス、主シユノ悉コトゴトクノ造物ゾウブツハ主シユヲ崇アガメ讃ホメヨ、

詠隊歌フ、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

誦經、主シユノ諸シヨ天使テンシハ主シユヲ崇アガメ讃ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

誦經、諸シヨ天テンハ主シユヲ崇アガメ讃ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

誦經、諸シヨ天テンノ上ウヘニ在アル水ミツハ主シユヲ崇アガメ讃ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

誦經、主シユノ萬マン軍グンハ主シユヲ崇アガメ讃ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

誦經、日ヒト月ツキト主シユヲ崇アガメ讃ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨ世ヨニ讃ホメ揚アゲヨ。

六二

六一

六〇

五九

五八

五七

五六

五五

六三

誦經 天ノ星ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

六四

誦經 雨ト露ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

六五

誦經 諸ノ風ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

六六

誦經 火ト熱ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

六七

誦經 寒ト暑ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

六八

誦經 露ト霜ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

六九

誦經 夜ト晝ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

七〇

誦經 光ト暗ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世ニ讚メ揚ゲヨ。

七一

誦經、氷コホリト嚴寒ケント主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七二

誦經、霰アラレト雪ユキト主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七三

誦經、電イナヅマト雲クモト主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七四

誦經、地チハ主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七五

誦經、山ヤマト邱ツカト主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七六

誦經、地チ上ジヤウノ植シヨク物ブツハ主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七七

誦經、諸シヨモノノ泉イヅミハ主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

七八

誦經、海ウミト河カハト主シユヲ崇アガメ讚ホメヨ、

詠隊、彼カレヲ歌ウタヒテ、世ヨニ讚ホメ揚アゲヨ、

聖大「スボタ」 晩課

七九

誦經 鯨ト凡ソ水ニ泳グ者ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八〇

誦經 天ノ諸ノ鳥ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八一

誦經 野獸ト一切ノ家畜ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八二

誦經 人ノ諸子ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八三

誦經 イズライリ民ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八四

誦經 主ノ司祭等ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八五

誦經 主ノ諸僕ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

八六

誦經 諸神ト諸聖人ノ靈ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

誦經 諸義人ト心ノ謙卑ナル者ト主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

誦經 アナニヤ、アザリヤ、ミサイルハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

誦經 主ノ諸使徒、預言者、致命者ハ主ヲ崇メ讚メヨ、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲヨ。

誦經 我等主ナル父ト子ト聖神トヲ崇メ讚メン、

詠隊 彼ヲ歌ヒテ、世世ニ讚メ揚ゲ。

誦經 今モ何時モ世世ニ「アミン」。

詠隊 主ヲ歌ヒテ、世世ニ彼ヲ讚メ揚ゲヨ。

誦經 我等主ヲ尊ミ、崇メ讚メ、彼ニ伏拜シ、

詠隊 歌ヒテ、無窮ノ世ニ讚メ揚ゲ。

次ニ小聯禱。聖三詞ニ代ヘテ歌フ「ハリストスニ於テ洗ヲ受ケシ者ハ」提綱、第

五調至上者ヨ、願ハクハ全地ハ爾ニ叩拜シ、爾ヲ歌ヒ、爾ノ名ニ歌ハン。句全地

ヨ、神ニ歡ビテ呼ビ、其名ノ光榮ヲ歌ヘヨ。使徒ノ誦讀ハ「ロマ書九十一端」兄弟

ヨ、我等ハリストスイイススニ於テ洗ヲ受ケシ者ハ「終」神ノ爲ニ生クル者ト

意へ「アリルイヤ」ヲ歌ハズ、即司祭ガ爾ニ平安ト言ヒテ後ニ誦經アリルイヤ
ニ代ヘテ誦ス、神ヨ、起キテ地ヲ裁判セヨ、爾萬民ヲ繼ガントスレバナリ。
右列詠隊、第七調ニ依リテ歌フ、神ヨ、起キテ地ヲ裁判セヨ、爾萬民ヲ繼ガント
スレバナリ。

誦經、句、神ハ諸神ノ會ニ立チ、諸神ノ中ニ裁判ヲ行ヘリ。

左列詠隊、神ヨ、起キテ地ヲ裁判セヨ、爾萬民ヲ繼ガントスレバナリ。

以下每句ノ後ニ更此ノ詞ヲ歌フ。

句、爾等義ヲ以テ裁判セズ、惡者ノ意ヲ邀フルコト何ノ時ニ至ルカ。

句、貧シキ者ト孤ノ爲ニ裁判ヲ行ヘ、窘シメラル者ト乏シキ者ニ義ヲ施セ。

句、乏シキ者ト貧シキ者ヲ扶ケ、之ヲ惡者ノ手ヨリ拔ケ。

句、彼等ハ知ラズ、悟ラズシテ、闇冥ヲ行ク。

句、地ノ基皆震フ。我曰ヘリ、爾等神ナリ、爾等皆至上者ノ子ナリ、然レドモ爾等

人ノ如ク死シ、諸侯ノ一ノ如ク仆レン。

誦經、神ヨ、起キテ地ヲ裁判セヨ、

詠隊、爾萬民ヲ繼ガントスレバナリ。

右歌フ時、司祭及ビ輔祭ハ黑色ノ祭服ヲ脱ギテ、白色ノ祭服ヲ着ス。己ニ着シ

テ、輔祭福音經ヲ捧持シテ升壇ニ出デ、高聲ニシテ曰ク、
君ヨ、聖使徒及ビ福音者マトスイノ福音ヲ宣ブル者ニ祝福セヨ。

司祭彼ニ聖號ヲ畫シテ曰ク、

願ハクハ神ハ、光榮ニシテ讚美タル聖使徒及ビ福音者マトスイノ祈禱ニ依
リテ、爾福音ヲ宣ブル者ニ多クノ力アル言ヲ賜ハン、其至愛ノ子我が主イ
ススハリストスノ福音ノ行ハレン爲ナリ。

福音經ノ誦讀、マトスイ百十五端、「安息日過ギテ、七日ノ首ノ日ノ黎明ニ、終、我
恒ニ爾等ト偕ニ世ノ終末マデ在ルナリ、「アミン」。

以下大ワシリイノ聖體禮儀ヲ行フコト例ノ如シ。

但シヘルワムノ歌ニ代ヘテ左ノ讚詞ヲ歌フ。第八調。

人ノ肉體ハ悉ク黙シ、畏レ戰キテ立ツベシ、一モ地ノ事ヲ己ノ中ニ思フ可カ
ラズ、蓋王ノ王、主ノ主ハ屠ラレテ、信者ノ食ニ予ヘラレン爲ニ來ル。天軍ハ凡
ノ主制及ビ權柄ト共ニ、多目ノヘルワムト六翼ノセラヌムトハ面ヲ覆ヒ、彼
ニ先ダチテ、歌ヒテ曰フ、「アリルイヤ」「アリルイヤ」「アリルイヤ」。

〔常ニ福ニシテ〕ニ代ヘテ歌フ。

母ヨ、我爾ガ種ナクシテ孕ミシ子ノ柩ニ在ルヲ見テ泣ク母レ、蓋我起キテ光

榮ヲ獲^エ神ナルニ因^ヨリテ、常ニ信ト愛トヲ以テ爾ヲ讚揚スル者ヲ光榮ノ中ニ高クセン。

領聖詞、第四調、主ハ寢ヌル者ノ覺ムルガ如ク興キ、我等ヲ救フ者ハ復活セリ。
「アリルイヤ」三次。

發放詞ノ後ニ司祭代聖錫ヲ頌ツ。

日己ニ暮レテ、信者が聖堂ニ參集スル時、堂中ニ就寢聖像ノ前ニ經案ヲ設ケ、其上ニ聖使徒行實ノ書ヲ置キ、誦經者其前ニ立チテ誦ス、聖使徒行實ノ讀。司祭曰ク、聖使徒ノ祈禱ニ因リテ、主イエイススハリストス我等ノ神ヨ、我等ヲ憐ミ給ヘ。誦經者「アミン」而シテ行實ヲ讀ミ始ム。皆起チ、或ハ坐シテ、敬ミテ聽ク。
〔信者ノ中ニモ善ク誦讀スル者ハ誦經者ニ代リテ、相續ギテ誦讀スルヲ得。〕
十時ヲ過ギ、若クハ十一時ノ頃ニ至リ、誦讀已ニ畢リテ、點燈者ハ堂中ノ燭臺及ビ懸燈ニ火ヲ點ジ、打鐘者ハ鐘ヲ撞ク。是ニ於テ司祭祝讚シテ夜半課ヲ始ム。誦經者、聖三祝文、其他「來レ、我等ノ王」、三次、第五十聖詠。次ニ大「スポタ」ノ規程、
「イルモス」二次、讚詞十二句ニ共頌ニ「イルモス」、兩詠隊共ニ歌フ。第三歌頌ノ後ニ大「スポタ」ノ坐誦讚詞、救世主ヨ、現レテ女等ニ復活ヲ傳フル天使。第六歌頌ノ後ニ大「スポタ」ノ小讚詞、及ビ同讚詞、第九歌頌ノ後ニ聖三祝文及ビ復活ノ

讚詞、第二調、「死セザル生命ヨ、爾死ニ降リシ時」聯禱及ビ發放詞。

（夜半課ヲ歌ヒテ終ラントスル時、聖務者ハ祭服ヲ着シテ、就寢聖像ノ前ニ爐儀ヲ行ヒ、詠隊ガ右ノ復活ノ讚詞ヲ歌フ時、之ヲ奉戴シ、堂中ヨリ王門ヲ過リテ至聖所ニ入り、寶座ノ上ニ安置ス。復其前ニ爐儀ヲ行ヒテ、早課ノ始マルマデ王門ヲ閉ヅ。就寢聖像ハ「パス」祭ノ復日ニ至ルマデ寶座ノ上ニ安置シテ、主ノ復活ノ後四十日間地上ニ在シシヲ形ル。）

三 歌 齋 經 終